

クズクビボソハムシの兵庫県南東部からの追加記録

吉田浩史¹⁾

はじめに

クズクビボソハムシは 2016 年に東京都港区からはじめて記録された外来種である (南・上田, 2018). 関東では東京都内で分布拡大した他, 神奈川 (上田, 2020), 埼玉 (加藤・田中, 2023), 千葉 (長田, 2023) の各県でも記録された.

関東以外では, 兵庫県神戸市 (吉田, 2021b) および福岡県福岡市 (上野ら, 2024) から少数の記録があるのみと思われる.

神戸市からの記録は, 2021 年 9 月に神戸市東灘区の都市公園で 1 個体が採集されたもので, 周辺にクズは生えておらず移動中の個体と推測された (吉田, 2021b).

その後, 2024 年 8 月に神戸港周辺のクズ群落において 3 個体が確認され, 定着・分布拡大の可能性が考えられたため, 同年 8 月から 12 月にかけて兵庫県南東部のクズ群落において調査を行った.

結果

2024 年 8 月から 12 月にかけて, 神戸市南部から西宮市の河川周辺や大型都市公園などにおいてクズクビボソハムシ (以下, 一部を除きハムシと略記) の食草であるクズを探索した. クズ群落を発見した場合, スウィーピングによりハムシの採集を行った.

その結果, 神戸市南西部の 5 ケ所及び西宮市の 1 ケ所でハムシの成虫が確認された. 港や海の近くだけでなく, 海から 1km 以上離れた内陸部でも確認された.

データ

甲虫目 ハムシ科

クズクビボソハムシ *Lema diversipes* Pic, 1921

神戸市東灘区向洋町中, 六甲アイランド南公園, alt.1m, 3exs., 8. VIII. 2024; 東灘区魚崎南町, 住吉川沿い, alt.1m, 1ex., 12. IX. 2024; 神戸市灘区千旦通, 都賀川公園, alt.30m, 1ex. (他 2 個体目撃), 30. X. 2024; 灘区摩耶海岸通, 西郷川河口公園, alt.5m, 2exs. (写真 1), 31. X. 2024; 神戸市中央区小野浜町, みなとの

もり公園, alt.3m, 3exs., 13. XI. 2024; 西宮市羽衣町, 夙川公園, alt.10m, 1ex. (他 3 個体目撃, 写真 1), 12. X. 2024.

採集者はすべて筆者 (吉田浩史) である.

調査記録 (2024 年)

・六甲アイランド南公園 (写真 2)

神戸市東灘区向洋町中, 標高 1m.

神戸市南東部の人工島, 六甲アイランド南端の公園. 周辺にクズが多く生えている. また, 公園の周辺には複数のコンテナターミナルがあり, 海外から持ち込まれたコンテナも多く保管されている. 8 月 8 日に公園中央付近北側のクズ群落においてハムシ 3 個体が確認された. 9 月 5 日, 9 月 27 日にも調査を行ったが, ハムシの食痕と思われるものは見られたが追加個体は得られなかった.

・向洋西公園

神戸市東灘区向洋町中, 標高 5m.

六甲アイランド内陸部の公園. 園内の一部にクズが生えている. 9 月 5 日に調査を行った. ハムシのものとと思われる食痕を少数確認したが, 生体は確認できなかった.

・住吉川沿い (写真 3)

神戸市東灘区魚崎南町, 標高 1m.

住吉川沿い, 河口から約 180m の地点. 河川周辺の一部にクズがまとまって生えている. 9 月 12 日にはクズにハムシのものとと思われる食痕が多数見られたが, スウィーピングの結果ハムシ 1 個体が確認されたのみであった. 10 月 11 日にも調査を行ったが, ハムシは確認されなかった.

・都賀川公園 (写真 4)

神戸市灘区千旦通, 標高 30m.

都賀川沿いの公園. クズは河川沿いの公園の一部でのみ繁茂している. 河口から約 1.4km の地点にあるクズ群落で 10 月 30 日にハムシ 3 個体を確認した. なお, この群落からは 2020 年に外来種ムネアカオオクロテンノウが記録されている (吉田, 2021a).

¹⁾ Hiroshi YOSHIDA 神戸市東灘区



図 1. クズ葉上のクズクビボソハムシ. (西宮市夙川公園, 10月12日撮影)



図 2. 六甲アイランド南公園周辺のクズ群落. (8月8日撮影)



図 3. 住吉川沿いのクズの食痕. (9月12日撮影)



図 4. 都賀川公園のクズ群落. (10月30日撮影)



図 5. 西郷川河口公園周辺のクズ群落. (10月31日撮影)



図 6. みなとのもり公園周辺のクズ群落. (11月13日撮影)



図 7. 神戸空港島中央緑地のクズ群落. (11月15日撮影)



図 8. 須磨海岸のクズ群落. (10月15日撮影)

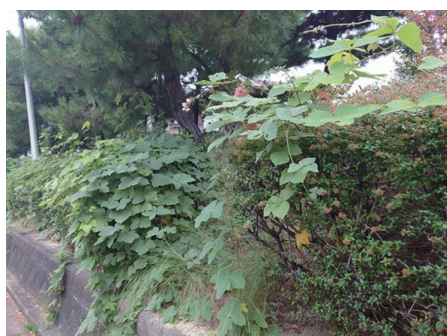


図 9. 芦屋市緑町のクズ群落. (11月16日撮影)



図 10. 夙川公園のクズの食痕. (10月12日撮影)

・西郷川河口公園（写真 5）

神戸市灘区摩耶海岸通, 標高 5m.

西郷川の河口近くにある公園。公園自体は花壇を中心によく管理されており, クズは生えていない。公園に隣接して阪神高速道路の摩耶 IC があり, 一般人の立ち入りできない場所にクズが繁茂している。遠目で見るとハムシのものと思われる食痕が見られた。一部フェンス越しに公園にクズが侵入している部分があり, 10 月 31 日にハムシ 2 個体が採集された。

・新神戸駅～生田川周辺

神戸市中央区葺合町布引山～国香通, 標高 20 ～ 60m.

ハムシが新幹線により運ばれた可能性を考慮し, 10 月 1 日に新神戸駅周辺を探索したが, クズは確認できなかった。周辺を流れる生田川沿いを南下して調査した結果, 一部にクズが繁茂する箇所があったが, ハムシおよび食痕は確認されなかった。

・みなとのもり公園（写真 6）

神戸市中央区小野浜町, 標高 3m.

中央区の本土側沿岸部に位置する公園。南側には人工島ポートアイランドがあり, 神戸大橋で結ばれている。クズ群落は南西側にのみ存在するが, 大半はフェンスの向こう側の立ち入りできない部分にある。11 月 13 日に多くの食痕とハムシ 3 個体を確認した。

・ポートアイランド中央緑地

神戸市中央区港島南町, 標高 10m.

神戸市南部の人工島, ポートアイランド内陸部の公園。クズは公園の周辺に少数生えているのみ。9 月 9 日および 11 月 13 日に調査を行ったが, ハムシおよび食痕は確認されなかった。

・ポータルライナー医療センター駅周辺

神戸市中央区港島南町, 標高 10m.

ポータルライナー医療センター駅から上記中央緑地までの通路の両脇にクズが生えている。9 月 9 日に調査を行ったが, ハムシおよび食痕は確認されなかった。11 月 13 日の調査時には, 少し前に草刈りが行われたようで, 通路側にはみ出したクズはほとんど見られなくなっていた。ハムシおよび食痕は確認されなかった。

・ポートアイランド西緑地

神戸市中央区港島港町, 標高 5m.

ポートアイランド南西岸に位置する細長い緑地。クズは一部にのみ存在する。11 月 15 日に調査を行ったが, ハムシおよび食痕は確認されなかった。

・神戸空港島（写真 7）

神戸市中央区神戸空港, 標高 1m.

ポートアイランドの南にある人工島, 神戸空港島にある中央緑地（吉田 (2015) において公園とされた場所）と周辺の道路沿いにクズが生えている。空港からハムシが侵入した可能性を考え, 9 月 9 日および 11 月 15 日に調査を行った。9 月にはクズは一部にまとまって生えているのみであったが, 11 月にはそこから伸長して広範囲に広がっていた。ハムシおよび食痕は確認されなかった。9 月には同群落から外来種ムネアカオオクロテントウ 1 個体が確認された。

・須磨海岸（写真 8）

神戸市須磨区須磨浦通, 標高 1m.

JR 須磨駅の西側, 須磨浦漁港周辺にクズ群落がある。10 月 15 日に調査を行ったが, ハムシおよび食痕は確認できなかった。海が近いために塩の影響を受ける可能性がある。この群落については 2023 年以前にも何度か採集を行っていた。マルカメムシは多いが, ハムシやムネアカオオクロテントウは確認されていない。

・芦屋川沿い

芦屋市松ノ内町～緑町, 標高 30 ～ 0m

芦屋市内を流れる芦屋川の河川敷および左岸側の公園。11 月 10 日に阪急芦屋川駅（松ノ内町）から阪神芦屋駅（公光町）周辺, 11 月 16 日に阪神芦屋駅から芦屋川河口（緑町）周辺にかけて調査を行った。松ノ内町の芦屋川河川敷, 緑町の道路沿い緑地（写真 9）の狭い範囲でのみクズ群落は見られたが, ハムシや食痕は確認されていない。

・夙川公園（写真 10）

西宮市羽衣町, 標高 10m.

西宮市内を流れる夙川沿いの公園。池の周辺にクズが生えている。夙川河口からは約 1.7km 離れている。10 月 12 日に調査を行い, 広範囲のクズ葉上に本種と思われる食痕が多数みられたが, 確認された生体は 4 個体のみであった（写真 1）。

考察

今回調査を実施した神戸市南部および阪神間は都市部であるが, クズは河川周辺や大型の公園, 埋立地などで見られる。クズは川や道路に沿って線状に生育するのではなく, 局地的にまとまった群落を形成しており, そこから離れるとほとんど見られなくなる。つまり, クズ群落は広範囲に点在し, ハムシはそれを飛び石のように利用して分布を拡大している可能性がある。ハムシの移動方法については不明であるが, 自力で飛行もしくは風

に乗って移動するほか、今回の範囲については都市部であるため自動車や電車による移動も考えられる。

兵庫県への侵入経路についてであるが、すでに広まっている関東地方と兵庫県の間の中部・近畿地方から記録がないこと、六甲アイランドの港周辺で確認されたことから、関東の個体群とは別ルートで海外から神戸港に侵入した可能性がある。関東から新幹線や航空機で移動した可能性も考えられるが、新幹線の新神戸駅や神戸空港周辺ではハムシは確認されておらず、それらを裏付けるデータは得られていない。住吉川や夙川の記録に見られるように、クズの葉に多くの食痕が見られてもハムシは少数しか確認されない例や、六甲アイランドや住吉川のようにすでにハムシが確認された地点でも一ヶ月後には確認されなかった例もあり、調査時には注意が必要である。これらの例は成虫が死亡したか、もしくは同一箇所にとどまらず移動分散したものと考えられるが、実際の成虫の動向については不明である。

今後は兵庫県南西部を中心に兵庫県内や隣接する大阪府などへ分布拡大の可能性があり、注目が必要と思われる。

引用文献

- 加藤敦史・田中 努, 2023. 外来種クズクビボソハムシが埼玉県に侵入. 寄せ蛾記, (187): 30-32.
- 南 雅之・上田衛門, 2018. 日本初記録の外来種クズクビボソハムシ (新称) における知見. 月刊むし, (568): 23-25.
- 長田庸平, 2023. 千葉縣市川市でクズクビボソハムシを採集. 月刊むし, (631): 45.
- 上田衛門, 2020. 川崎市多摩川河川敷にてクズクビボソハムシを採集. 神奈川虫報, (203): 13.
- 上野高敏・上野義人・上野信人, 2024. 外来種クズクビボソハムシ *Lema diversipes* Pic, 1921 を福岡市から多数確認. Pulex, (103): 1077-1079.
- 吉田浩史, 2015. 神戸空港島の昆虫相, きべりはむし, 37(2): 37-48.
- 吉田浩史, 2021a. 神戸市内からのムネアカオオクロセントウの記録. きべりはむし, 44(1): 101-102.
- 吉田浩史, 2021b. 神戸市内から記録されたハムシ科移入種 2 種. きべりはむし, 44(2): 60-61.

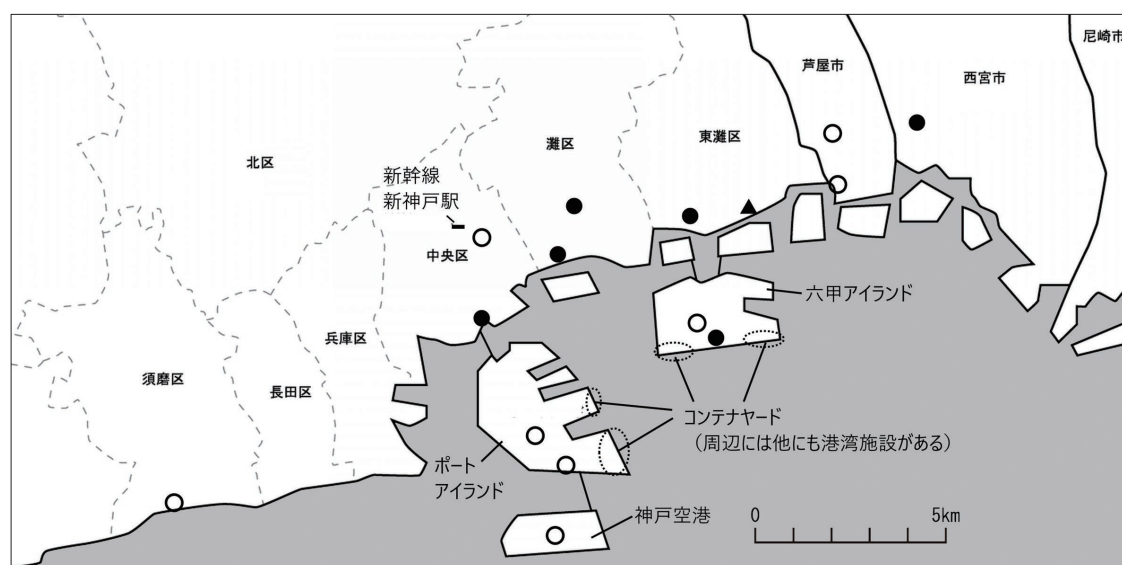


図 11 クズとクズクビボソハムシの確認地点

- : クズとハムシが確認された地点 (2024 年)
- : クズはあるがハムシは確認されなかった地点
- ▲: クズはないがハムシは確認された地点 (2021 年)